

中西清二宿毛市長 様

イージス駆逐艦「オカーン」の宿毛寄港に強く抗議する

わたしたちは、米国駆逐艦「オカーン」の宿毛寄港に強く抗議する。駆逐艦「オカーン」は、非核証明書の提出をこぼんだまま寄港した。ヒロシマ、ナガサキ、ビキニと三度にわたる原子爆弾、水素爆弾の被爆をうけた日本国民の感情を無視した寄港は、友好と親善に背く行為である。核兵器搭載疑惑をもった駆逐艦「オカーン」の寄港を許可したことに抗議する。

こんかいの「オカーン」宿毛寄港は、2年前の「ラッセル」寄港につづいて2度目であることに、わたしたちは強い怒りと懸念をもっている。いま米国は世界中で先制攻撃戦略をすすめており、在日米軍もそのシナリオにもとづいて再編強化されている。こんどの寄港は、在日米軍の再編計画にそって、米軍が宿毛湾を自由につかえる企てをすすめるものであり、断じて認めるわけにはいかない。わたしたちは米国のおこす戦争計画に、宿毛湾を組み込むことに道をひらく駆逐艦「オカーン」の寄港を許可したことに抗議する。

米国がイラク戦争をはじめとして、国際世論から孤立してまで、戦争政策をすすめていることは、米国軍人の規律を低下させ、日本でさまざまな事件と事故をおこす要因となっている。宿毛市民の安全と平和を守るために、軍艦の寄港と軍人の上陸を認めるべきではない。わたしたちは、宿毛市民の安全と平和を脅かす可能性のある駆逐艦「オカーン」の寄港を許可したことに抗議する。

わたしたちは、二度とふたたび米国の軍艦の宿毛寄港を認めないことを強く求めるものである。

以上

2008年5月21日

イージス駆逐艦「オカーン」寄港に抗議する宿毛集会